

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年2月10日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 プラコー  
 コード番号 6347 URL <http://www.placo.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 秦 範男  
 (氏名) 権田 和睦

TEL 048-798-0222

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,710	4.6	12	—	△9	—	△12	—
22年3月期第3四半期	1,635	△21.4	△49	—	△90	—	△99	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△0.48	—
22年3月期第3四半期	△6.88	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	1,425	23	1.6	0.86
22年3月期	1,498	45	3.1	1.70

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 23百万円 22年3月期 45百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,620	7.8	75	971.4	33	—	27	—	1.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 27,152,585株 22年3月期 27,152,585株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 45,093株 22年3月期 43,787株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 27,108,362株 22年3月期3Q 14,484,796株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
(4) 役員の異動	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 重要な後発事象	10
(2) 生産、受注及び販売の状況	10

## 1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期会計期間におけるわが国経済は、東南アジア新興国における経済成長はあったものの、先進国の経済回復が遅れたことに加え、円高の進行の影響もあり、牽引役である輸出が低迷しました。一方、内需は引続く景気の低迷と円高リスク回避策として国内企業が実施した海外進出は、国内設備投資の減少を加速し、全体的に厳しい状況でありました。

当社の関係するプラスチック加工業界及び環境関連においては、一部に新機能、新分野商品の引合いはあるものの、全体的には景気の低迷、自動車部品関連事業を中心にこれまでの新興国への工場移転などに加えて海外現地法人設立が進行するなど、厳しい経営環境にありました。

このような状況下、営業面では、食品、医療分野向けに開発、上市した全電動ブロー成形機やカッターコンパクター付高性能ペレイタイザーなどの新機能、新分野商品の受注促進に向けて社内展示会を開催するなど全社挙げて活動いたしました。また、生産面では、引続きコスト低減と適正品質の維持、生産性の向上に努めました。さらに、これまで外部委託していた業務を内製化するなど、固定費についても更に削減を進め実効をあげることができました。

当第3四半期累計期間における売上高は、一部の納入時期のずれ込みはあったものの、受注増加により、1,710百万円と前年同四半期と比べ75百万円増(前年同期比4.6%増)となりました。また、損益面については、売上高の微増に加え、一部開発コストが増加したことなどにより、営業利益12百万円(前年同期は営業損失49百万円)を計上しましたが、前年同期に比べ収益性は改善しているものの、経常損失9百万円(前年同期は経常損失90百万円)、四半期純損失12百万円(前年同期は四半期純損失99百万円)を計上しております。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

流動資産は、前会計年度末に比べて9.7%減少し、641百万円となりました。これは、現金及び預金が97百万円、受取手形及び売掛金が96百万円それぞれ減少し、棚卸資産が99百万円増加したことなどによります。

固定資産は、前会計年度末に比べて0.1%減少し、775百万円となりました。

繰延資産は、前会計年度末に比べて29.0%減少し、7百万円となりました。

この結果、総資産は前会計年度末に比べて4.9%減少し、1,425百万円となりました。

流動負債は、前会計年度末に比べて8.6%減少し、868百万円となりました。これは、短期借入金が168百万円減少し、前受金が96百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前会計年度末に比べて6.2%増加し、533百万円となりました。これは、長期借入金が33百万円増加したことなどによります。

この結果、負債は前会計年度末に比べて3.5%減少し、1,401百万円となりました。

純資産は、前会計年度末に比べて49.1%減少し、23百万円となりました。これは、第3四半期会計期間において四半期純損失を20百万円計上したことによるものです。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### 1. 簡便な会計処理

##### 棚卸資産の評価方法

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前事業年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法になっております。

#### 2. 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理

##### 原価差異の繰延処理

操業度等の変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産(その他)として繰延べております。

### (2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 1. 資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常損失及び税引前四半期純損失に与える影響はありません。

#### 2. 原価差異の繰延処理の適用

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異については、従来原則的処理を採用していましたが、売上原価を四半期会計期間の売上高へより適切に対応できることから、当第1四半期会計期間より繰延処理を採用することといたしました。

なお、当第3四半期累計期間は、変更前の方法によった場合に比べて、営業利益は16,352千円増加し、経常損失及び税引前四半期純損失は、それぞれ16,352千円減少しております。

### (3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社は、当第3四半期累計期間において当期純損失12,954千円を計上しております。また、平成21年3月7日に株式会社ジャスダック証券取引所(現、株式会社大阪証券取引所)から、特設注意市場銘柄に指定されていましたが、平成22年6月22日に大阪証券取引所より当社の内部管理体制の運用が十分ではないという理由で、当社株式を特設注意市場銘柄の指定から解除しない通告を受けております。

このような事態は、一部の取引金融機関との契約条項に触れてはおりますが、新規融資や一部の金融機関において滞っていた手形割引が復活いたしました。ただし、信用状の発行が停止状態にあることなどから、取引金融機関との今後の取引と平成23年2月以降の資金繰りに関して不確実性が残されております。

### (4) 役員の異動

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	38,323	136,152
受取手形及び売掛金	304,189	400,582
製品	19,544	62,990
仕掛品	190,803	50,340
原材料及び貯蔵品	30,826	28,582
その他	61,107	36,062
貸倒引当金	△2,821	△3,486
流動資産合計	641,973	711,224
固定資産		
有形固定資産		
土地	508,000	508,000
その他(純額)	168,755	185,267
有形固定資産合計	676,755	693,267
無形固定資産		
投資その他の資産	13,310	72
その他	97,514	96,212
貸倒引当金	△11,950	△12,739
投資その他の資産合計	85,564	83,473
固定資産合計	775,630	776,813
繰延資産	7,451	10,502
資産合計	1,425,055	1,498,540
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	435,629	418,756
短期借入金	257,968	426,114
未払法人税等	6,943	8,814
引当金	10,958	9,747
その他	157,003	87,251
流動負債合計	868,503	950,683
固定負債		
長期借入金	341,220	307,300
退職給付引当金	99,832	100,675
繰延税金負債	88,558	88,558
その他	3,562	5,364
固定負債合計	533,173	501,898
負債合計	1,401,676	1,452,581

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,332,945	1,332,945
資本剰余金	131,387	131,387
利益剰余金	△1,550,836	△1,537,881
自己株式	△5,168	△5,154
株主資本合計	△91,671	△78,702
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△15,594	△5,983
土地再評価差額金	130,645	130,645
評価・換算差額等合計	115,050	124,661
純資産合計	23,378	45,958
負債純資産合計	1,425,055	1,498,540

(2) 四半期損益計算書

【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	1,635,538	1,710,692
売上原価	1,277,736	1,316,899
売上総利益	357,801	393,793
販売費及び一般管理費	407,158	381,359
営業利益又は営業損失(△)	△49,357	12,433
営業外収益		
受取利息	1,420	2,014
物品売却益	334	1,267
助成金収入	3,362	—
受取保険料	—	1,609
その他	2,143	3,119
営業外収益合計	7,261	8,011
営業外費用		
支払利息	25,639	18,280
手形売却損	—	7,725
支払手数料	13,146	—
その他	9,421	3,650
営業外費用合計	48,207	29,657
経常損失(△)	△90,303	△9,212
特別利益		
投資有価証券売却益	1,091	—
貸倒引当金戻入額	—	685
その他	—	102
特別利益合計	1,091	787
特別損失		
子会社清算損	4,780	—
その他	605	215
特別損失合計	5,385	215
税引前四半期純損失(△)	△94,597	△8,641
法人税、住民税及び事業税	5,074	4,313
法人税等合計	5,074	4,313
四半期純損失(△)	△99,672	△12,954



## 【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年10月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)
売上高	599,467	509,653
売上原価	448,069	401,197
売上総利益	151,397	108,456
販売費及び一般管理費	122,844	121,479
営業利益又は営業損失(△)	28,553	△13,023
営業外収益		
受取利息	457	591
受取保険料	—	1,609
その他	1,199	1,251
営業外収益合計	1,657	3,453
営業外費用		
支払利息	7,054	5,885
支払手数料	13,146	—
その他	2,475	3,913
営業外費用合計	22,676	9,798
経常利益又は経常損失(△)	7,534	△19,369
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	685
特別利益合計	—	685
特別損失		
その他	300	△41
特別損失合計	300	△41
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	7,234	△18,642
法人税、住民税及び事業税	1,691	1,446
法人税等合計	1,691	1,446
四半期純利益又は四半期純損失(△)	5,542	△20,088

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
税引前四半期純損失(△)	△94,597	△8,641
減価償却費	23,349	21,710
子会社清算損益(△は益)	4,780	—
引当金の増減額(△は減少)	△15,910	△196
受取利息及び受取配当金	△2,419	△2,650
支払利息	25,639	18,280
売上債権の増減額(△は増加)	△137,147	192,395
たな卸資産の増減額(△は増加)	76,540	△99,261
仕入債務の増減額(△は減少)	36,893	6,950
その他	7,203	△44,239
小計	△75,669	84,348
利息及び配当金の受取額	2,972	3,023
利息の支払額	△23,560	△20,977
法人税等の支払額	△7,979	△6,616
営業活動によるキャッシュ・フロー	△104,237	59,777
定期預金の純増減額(△は増加)	193,713	50,000
有形固定資産の取得による支出	△10,106	△4,614
無形固定資産の取得による支出	—	△13,678
投資有価証券の売却及び償還による収入	15,965	—
子会社の清算による収入	21,324	—
その他	51,531	△2,960
投資活動によるキャッシュ・フロー	272,428	28,747
短期借入金の純増減額(△は減少)	△235,181	△144,381
長期借入れによる収入	—	186,245
長期借入金の返済による支出	△167,997	△176,090
自己株式の取得による支出	△85	△14
株式の発行による収入	141,737	—
その他	△8,647	△1,724
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270,174	△135,965
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△101,982	△47,440
現金及び現金同等物の期首残高	154,903	85,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,921	38,323

#### (4) 継続企業の前提に関する注記

当社は、当第3四半期累計期間において当期純損失12,954千円を計上しております。また、当社の株式は、大阪証券取引所からは引続き特設注意市場銘柄に指定されております。このような事態は、一部の取引金融機関との契約条項に触れてはおりますが、新規融資や一部滞っていた手形割引が復活しました。しかし、輸入取引においてDA決済を行なっておりますが、信用状の発行が停止状態にあることなどから、取引金融機関との今後の取引と平成23年2月以降の資金繰りに関して不確実性が残されております。

これらの状況は、継続企業の前提に重要な疑義が生じるような事象又は状況に該当いたします。当社はこれらの事象又は状況を解消すべく以下の通り諸施策を実施いたします。

##### (販売促進施策)

- ① 当期に開発、上市した時代を先取りする新技術に係る新商品である太陽光発電フィルム用インフレーション成形機、環境に優しい全電動ブロー成形機、小型自動二輪車に搭載する4種6層燃料タンク用ブロー成形機、高機能・高生産性を発揮するカッターコンパクト付ペレイタイザーなどの拡販による売上高の増加と収益性の改善
- ② 社内展示会における新商品紹介
- ③ 業界新聞、雑誌上での新商品紹介
- ④ 海外に強力なネットワークを有する商社との連携による新興国市場の再獲得
- ⑤ 部品、メンテナンス工事の受注拡大戦略

##### (生産コストダウン施策)

- ① 設計面からの過剰仕様、過剰品質の回避
- ② 正確なコスト分析によるリーズナブルな仕入コストの設定
- ③ 海外調達、海外生産の拡充
- ④ 生産システムの見直しと改善による生産コストダウン
- ⑤ 新興国市場に適合する商品仕様、商品品質の再設定

##### (固定費削減施策)

- ① 諸業務現状におけるムリ、ムダ、ムラをなくして労務費を削減する
- ② 業務フローと諸システムの合理化、効率化を更に進め、人材の有効活用と固定費削減を図る
- ③ 月次固定費を限界利益以内に抑えることを目指す

##### (財務強化施策)

- ① 売上代金回収の徹底
- ② 適正資金調達のための銀行借入の実行
- ③ 信用状取引の復活
- ④ 手形割引枠の拡大

しかし、これらの対応策については関係者との協議を行いながら進めている途上であるため、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期財務諸表に反映していません。

#### (5) セグメント情報

当社はプラスチック成形機事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

#### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

該当事項はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 経営管理上重要な指標の推移

当第3四半期会計期間(自平成22年10月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

## (2) 生産、受注及び販売の状況

## 1 生産実績

当第3四半期会計期間における生産実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	267,611	△16.1
ブロー成形機事業	32,396	△81.5
リサイクル装置事業	42,769	52.0
合 計	342,776	△34.4

- (注) 1 金額は、販売価格によっております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2 受注実績

当第3四半期会計期間における受注実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	259,294	△13.7	437,703	△7.3
ブロー成形機事業	202,540	32.2	319,510	22.0
リサイクル装置事業	53,520	4.4	53,520	△25.8
合 計	515,355	2.0	810,733	0.6

- (注) 1 受注実績には、メンテナンス事業の金額は含まれておりません。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 3 販売実績

当第3四半期会計期間における販売実績を事業部門別に示すと、次のとおりであります。

事業部門別の名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
インフレーション成形機事業	368,731	12.2
ブロー成形機事業	18,121	△89.7
リサイクル装置事業	51,069	118.4
メンテナンス事業	71,731	0.7
合 計	509,653	△15.0

(注) 1 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第3四半期会計期間		当第3四半期会計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
宇部フィルム(株)	17,968	3.0	85,287	16.7
いよぎんリース(株)	—	—	70,000	13.7

2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。